

日常域から高G領域まで優れたホールド性を発揮する、専用設計「Honda TYPE R シート」。

シビックTYPE R EUROに搭載した「Honda Rスペックシート」をさらに進化させた、専用設計の「Honda TYPE R シート」を開発しました。運転席からの低い視点でエキサイティング・コクピットを実感でき、急激な旋回時でもしっかりと体をホールド。ハイパフォーマンスで圧倒的な走りを支えます。

【Honda TYPE R シート】

- ①ヘッドレスト一体大型ショルダーサポート
- ②多面体形状シートバック
- ③低ヒップポイント対応専用ウレタン
- ④ペダル操作性向上 異硬度クッション(前端部)
- ⑤TYPE R 専用ハイメタルガーニッシュ
- ⑥TYPE R 刺繍入り ラックス スエード®×メッシュ表皮
- ⑦TYPE R 専用一体バックボード

*ラックス スエード®はセーレン株式会社の登録商標です

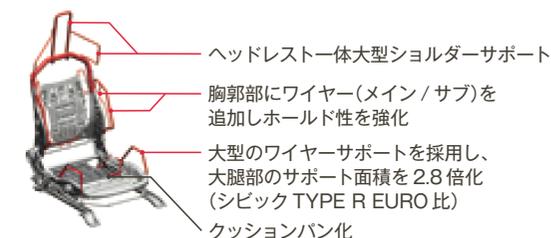


●ホールド性の強化

より広い面積で体を支えるために、シビックTYPE R EUROに対し、シートバックのサイドサポート部にメイン、サブ2本のワイヤーを追加するとともに、体にしっかりと沿わせる多面体形状シートバックを採用。さらに、大腿部のサポートワイヤー大型化などの強化も加えたことで、低G領域から高G領域まで優れたホールド性を発揮します。

■シート骨格構造

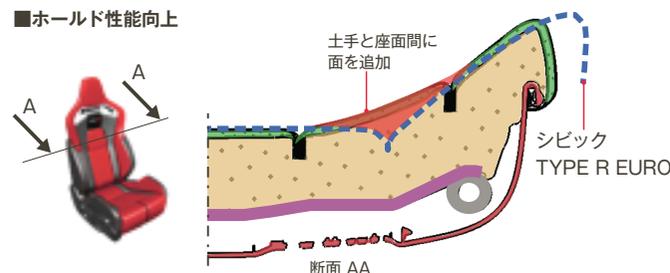
シビックTYPE R EUROからの変更部位



●低ヒップポイント化

シビックTYPE Rはセンタータンクレイアウトを採用しているためフロントシート下に燃料タンクがあり、位置を大幅に下げることができません。そこでクッションパンの採用と、座面のクッション部であるウレタンの発泡密度・硬度などを見直すことで、シビックTYPE R EURO同等のクッション性能を確保しながら20%のウレタン薄型化を可能にしました。これにより、ベース車(欧州シビック5ドア)に対し20mm低いヒップポイントを実現。さらに車高を10mm低下させたことと合わせ、ヒップポイント地上高はベース車に対し30mmの低下を実現し、アイポイントを大幅に下げている

■ホールド性能向上



横G入力時の体の横ずれ量比較



■旋回時の体圧比較

